

お茶の水女子大学での一学期

同徳女子大学校

イ イェジ

k2690006

4月に日本へ来たときは、これから始まる日本での生活にワクワクする気持ちがある一方で、不安や心配もたくさんありました。約6か月間、慣れない土地で一人で生活していけるだろうか、日本の文化にうまくなじめるだろうかと心配していました。日本には旅行で何度も来たことがありましたが、これほど長い期間生活するのは初めてだったからです。しかし、心配していたこととは違い、多くの方々に助けていただいたおかげで、日本での生活にはすぐに慣れることができました。そして、むしろ時間があっという間に過ぎてしまったことが、とても名残惜しく感じられました。

日本では、留学生向けの授業を7科目と専門科目を1科目履修しました。本来は副専攻であるコミュニケーションコンテンツ専攻に関連する授業を受講したいと考えていましたが、お茶の水女子大学には関連する専攻がなかったため、コミュニケーション心理学の授業を受講しました。これから交換留学をされる方には、留学生向けの授業だけでなく、専門科目もぜひ受講することをおすすめしたいです。そのほうが、日本の大学生活をより幅広く経験できると思います。

半年間で最も役に立った授業は、「日本事情演習ⅢA」と「日本語演習ⅢA」でした。「日本事情演習ⅢA」では、日本のビジネスをテーマに、日本の就職環境や就職活動について詳しく学ぶことができました。特に、自己分析やガクチカ、志望動機を実際に作成し、先生からフィードバックをいただきながら、日本での就職活動について準備できたことがとても良かったです。

「日本語演習ⅢA」は、日本文学作品を読んで分析する授業で、読解力や作文力を伸ばすうえで大変役に立ちました。この授業を通して初めて日本語の原書を読みましたが、最初は縦書きや難しい漢字に慣れず、短い文章を読むだけでも多くの時間がかかりました。しかし、次第に読むスピードも速くなり、本の内容にも集中できるようになったことで、自分の読解力が向上したことを実感しました。正直に言うと、一学期の中で最も難しく、一番多くの時間をかけた授業でしたが、その分、一番多くのことを学び、自分自身が成長できた授業でもありました。

授業以外では、サークル活動や文化体験教室にも参加しました。文化体験教室では、生け

花や浴衣体験、団子作りを体験しましたが、どれも初めての経験で、とても楽しい思い出になりました。そのため、これからお茶の水女子大学へ留学される方にも、ぜひ文化体験教室に参加することをおすすめしたいです。

また、日本へ来る前に計画していたとおり、交換留学Vlogも制作しました。初めて作る動画だったため、誰かに見せることよりも、自分の思い出を残し、動画制作のスキルを身につけたいという気持ちで始めました。留学期間は思っていた以上にあっという間に過ぎてしまうので、ブログや動画制作など、自分なりの方法で思い出を残してみることをおすすめします。

最後に、留学前は、こんなにも素敵な人たちと出会えるとは思っていませんでした。気の合う友人ができただけでなく、さまざまな国から来た人たちと交流し、お互いの文化について学び合い、語り合えた時間は本当に貴重な経験でした。半年という短い期間ではありましたが、今回の留学を通して、勉強だけでなく、大切な人との出会いにも恵まれたと感じています。